



令和2年度(2020年度)学校教育目標

自ら学び、心豊かに、たくましく未来を切り拓く生徒の育成

校訓【自主・友愛・健康】

玉名市立天水中学校だより 第8号

主体的に課題を解決したいから(その1)【天水町を見てこよう(8日)】

「たくましく未来を切り拓く」ために、天水町の未来のために自分にできること【地域貢献】は何かを考える第一歩として「天水町を見てこよう」を実施しました。



執行部は町商工会に行き、2年前から本校が参画している夏祭りについて質問をしました。

生活安全委員会は駐在所に行き、町の交通事情について質問をしました。



主体的に課題を解決したいから(その2)

【天水未来塾(前期中間テスト対策)13日~15日】

自らの意思で、教科を特定して課題(疑問点)を解決するために、「時間を有効に使うことができる生徒」の実践です。



主体的に課題を解決したいから(その3)【人権集会(17日)】

「どんな学校、学級、生徒を目指すのか?~人権集会で確認したいこと~」

会の最初にこの度の豪雨で亡くなられた方々を悼んで黙祷を行いました。

各学年による学習成果の発表、それぞれに対する返しの言葉発表のどれもが「いじめや差別をなくす」という課題を自分事として真剣に考えてくれていることが強く伝わってきて、とても頼もしく感じられました。

「言う気」は勇気ある証拠です。その勇気を支えているのは自分の「言う気」を優しく受け止めてくれる仲間がいるという安心感、信頼です。そのような仲間がいることが実感できる人権集会でした。

私からは、まず平成29年7月23日に熊日新聞に掲載された「人権集会通し絆を深めたい」という当時3年生だった生徒さんの投書を紹介しました。

次に「三ないは、ほんとうかな?…」という短い詩を紹介しました。自分たちの学級を振り返ってみるためです。

そして、目指す生徒像を確認しました。

- 自分の意見をしっかり発言できる生徒
- 笑顔があふれる生徒
- 時間を有効に使うことができる生徒

これらは生徒会執行部のみなさんが考えて決めたものです。



最後に、「教室はまちがうところだ」という絵本の読み聞かせをしました。こんな教室、学級、学校づくりができる生徒の育成を目指したいからです。